



# Doing Business with the Base of the Pyramid

**Symposium on Frontier of BoP  
March 9, 2010, Tokyo, Japan**

Marilou Uy  
Director, Financial and Private Sector Development  
The Africa Region  
The World Bank



# アウトライン

- BOP市場
  - 市場としての規模
- BOPの役割
  - 消費者としてのBOP
  - 生産者としてのBOP
  - 市場機能に基づいた貧困削減案
- 世銀グループの役割
  - 民間セクターを触媒する

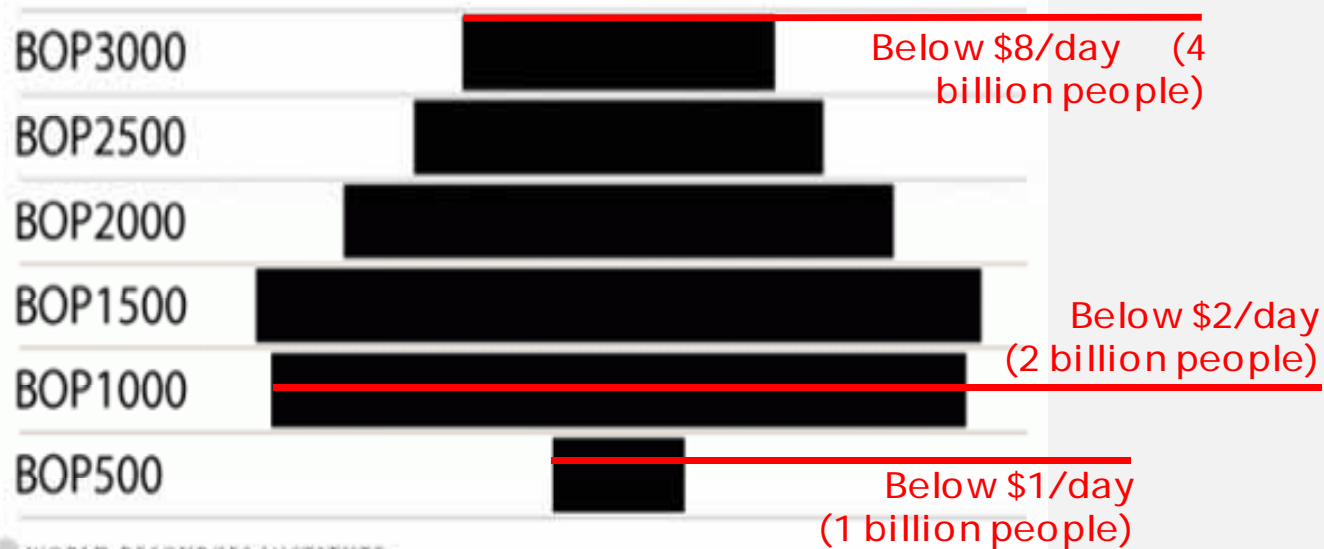
# BOP市場



# 市場としての可能性

IFC/WRIが出版した“The Next 4 Billion”ではベース・オブ・ピラミッド(BOP)に属するとされる一日8USドル(年間3000USドル)で生活する人口はおよそ40億人で、およそ5兆USドル相当の市場であるとされている。

## SHARE OF TOTAL BOP PURCHASING POWER (\$5 trillion) BY INCOME SEGMENT



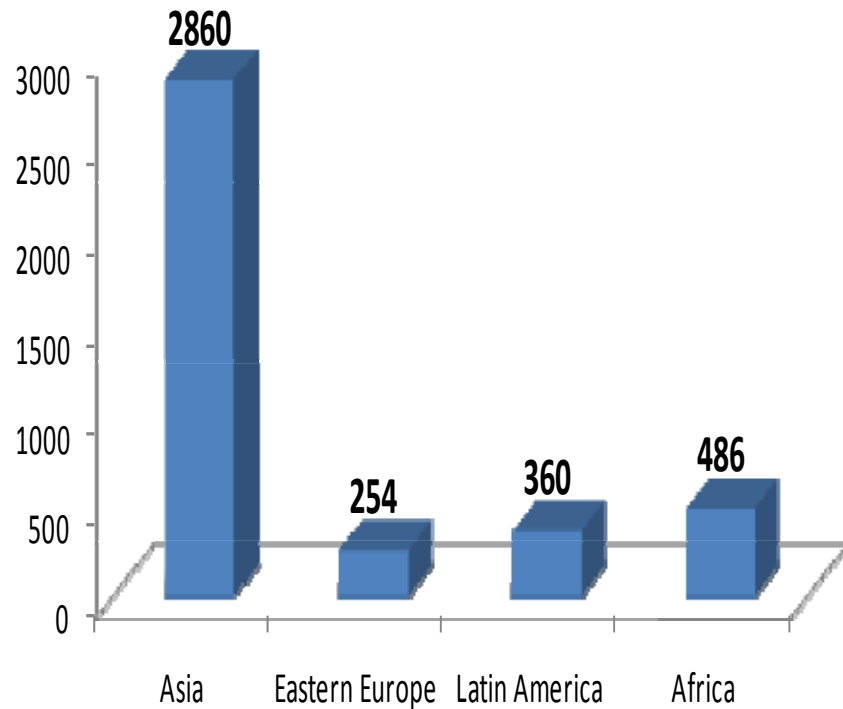
1 This definition was also adopted by the World Economic Forum.

# 市場としての可能性

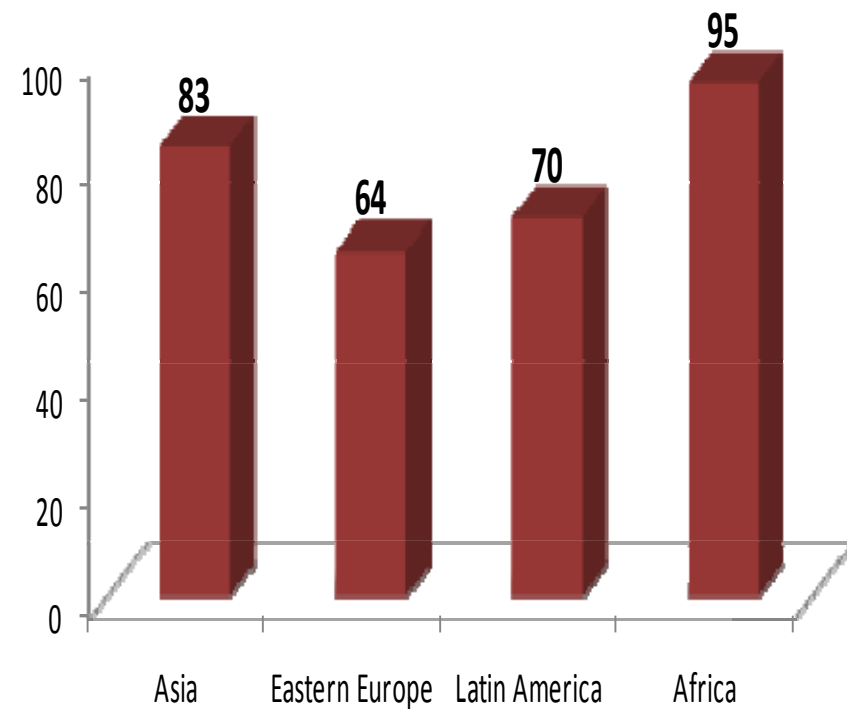
- アジアは潜在的消費者としてのBOPが最も多く、  
よって大規模な市場としての可能性が最も高い。
- アフリカではBOPは人口の95%、購買力の71%を占  
めている。
- この経済層を考慮することはこれらの地域における  
ビジネスを志向する際に不可欠。

# 地域別BOP市場

## Potential Consumers (Millions)



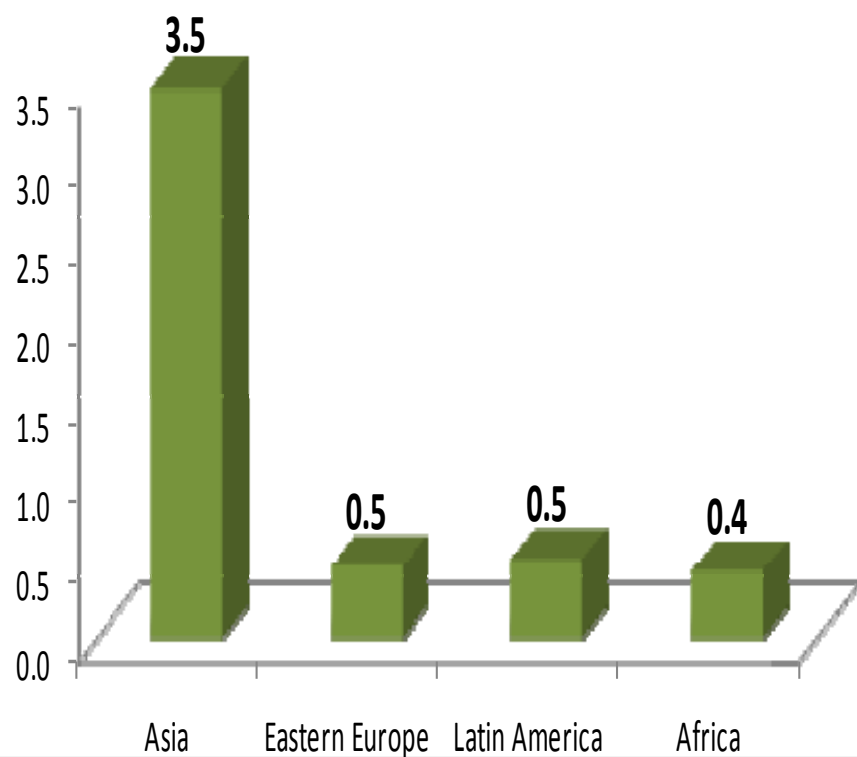
## Share of Regional Population (%)



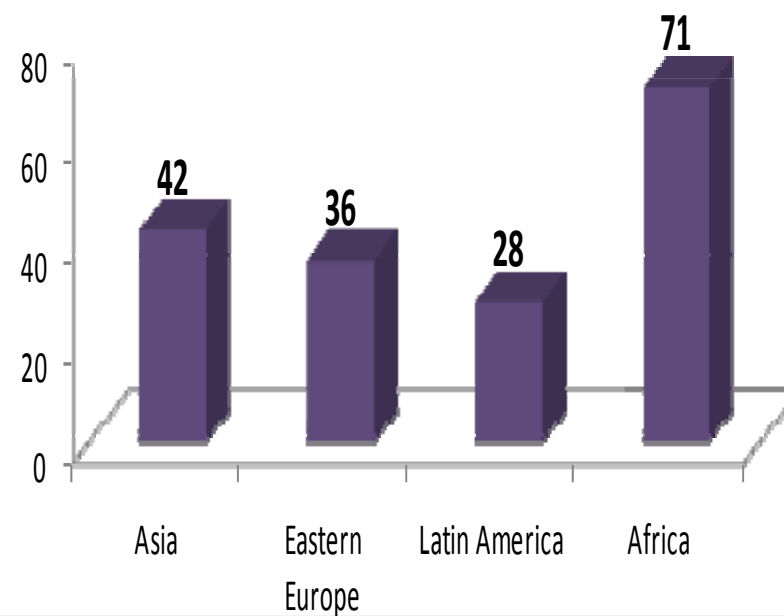
Source: The Next 4 Billion, IFC and WRI, 2007

# 地域別BOP市場

## Market Size (Trillions of PPP Dollars)



## Share of Regional Purchasing Power (%)



Source: The Next 4 Billion, IFC and WRI, 2007

# BOP市場の特徴

- 基本サービスが届いていない
  - 基本サービスへのアクセス欠如
  - 需要は市場プライス、限られた選択肢、アクセスの低さなどにより抑制されている
- 主にインフォーマル
  - 経済市場の末端
  - 分裂されている(統合されていない)
- よってサービスに対し割高な支払いを課せられている
  - 金銭的・アクセスを得るための対価
  - “BOPに課せられたペナルティ”

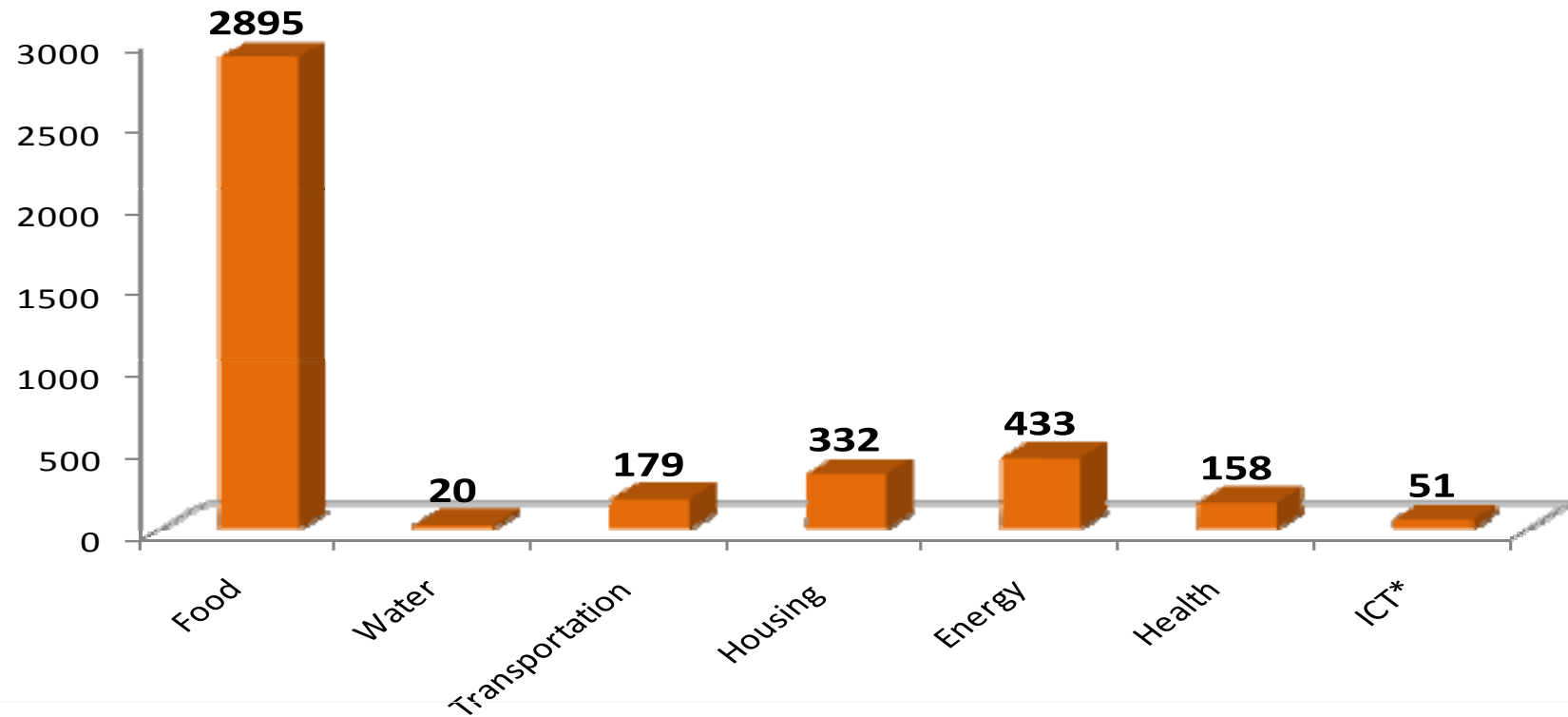


# 消費者としてのBOP: サービスへの需要



# セクター別BOP市場

**Estimated Market Size by Sector  
(Billion Dollars)**



Source: The Next 4 Billion, IFC and WRI, 2007

# BOPによるサービス需要

- BOPによる需要が最も高いのは食糧
- 地方における需要はアクセス欠如により、より抑制されている

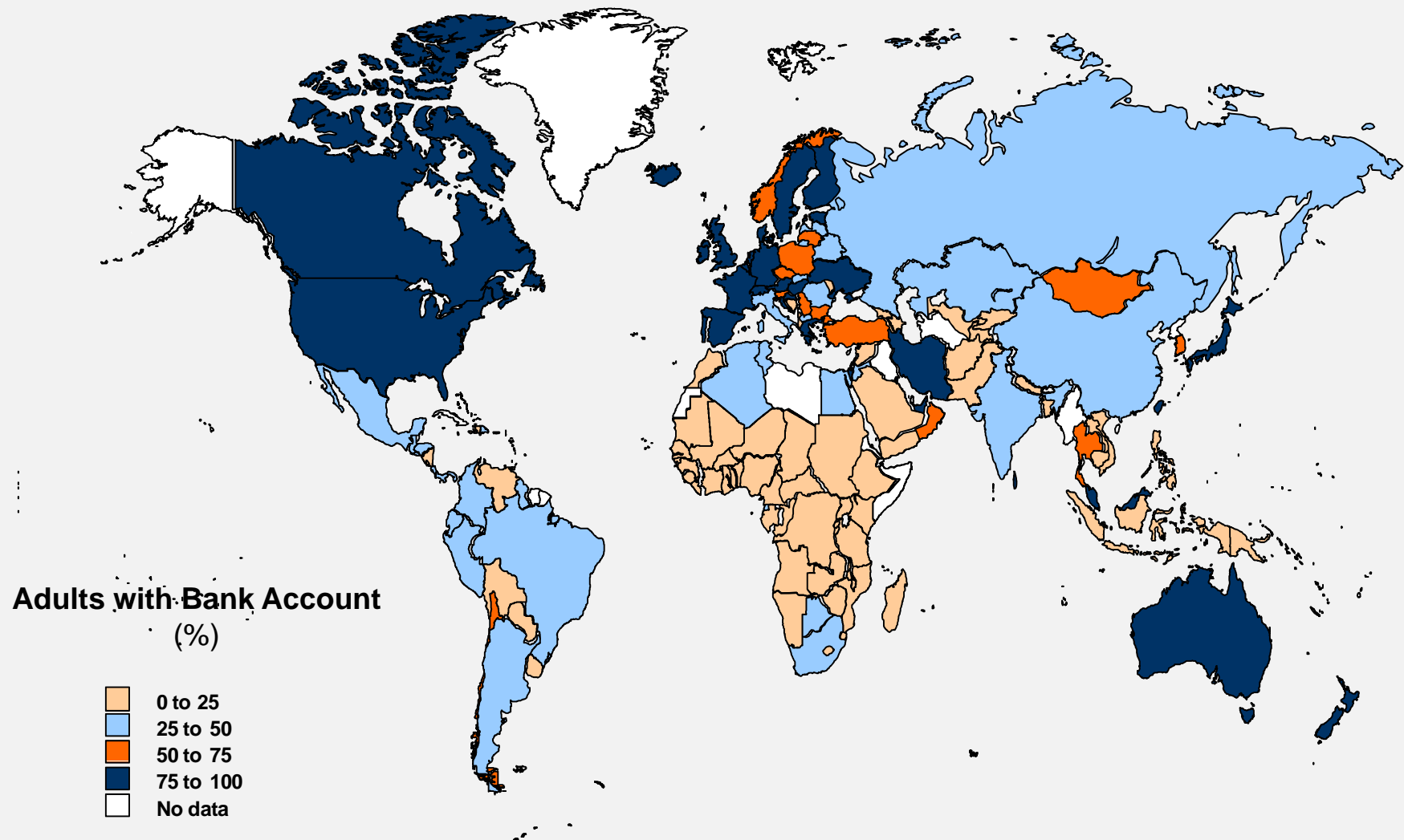
# 金融サービス

- 一日当たり2USドルの生活層から金融商品・サービスへの需要を正確に割り出すことは困難。
- 貧困層の収入は低く不定期であり、消費平準化のためのツールがある。
- 貧困層世帯における予算マネジメント・テクニックは一般的な中規模事業の計画とは異なり(主に貯蓄)、小規模事業に相似している(貯蓄、マイナス貯蓄、借入、返済)。

# 金融サービス

- 金融サービスにおけるBOPペナルティには与信枠の制限や高利子に加え、詐欺や窃盗のリスクがある。
- 需要に合わせた金融商品へのアクセスを拡大すれば、BOPはその他のニーズを自己管理することができる。
- しかし開発途上国の金融市場からBOP世帯は締め出されているのが現状。

# 金融サービスへのアクセス



# 金融サービスへのアクセス 開発途上国への送金総額

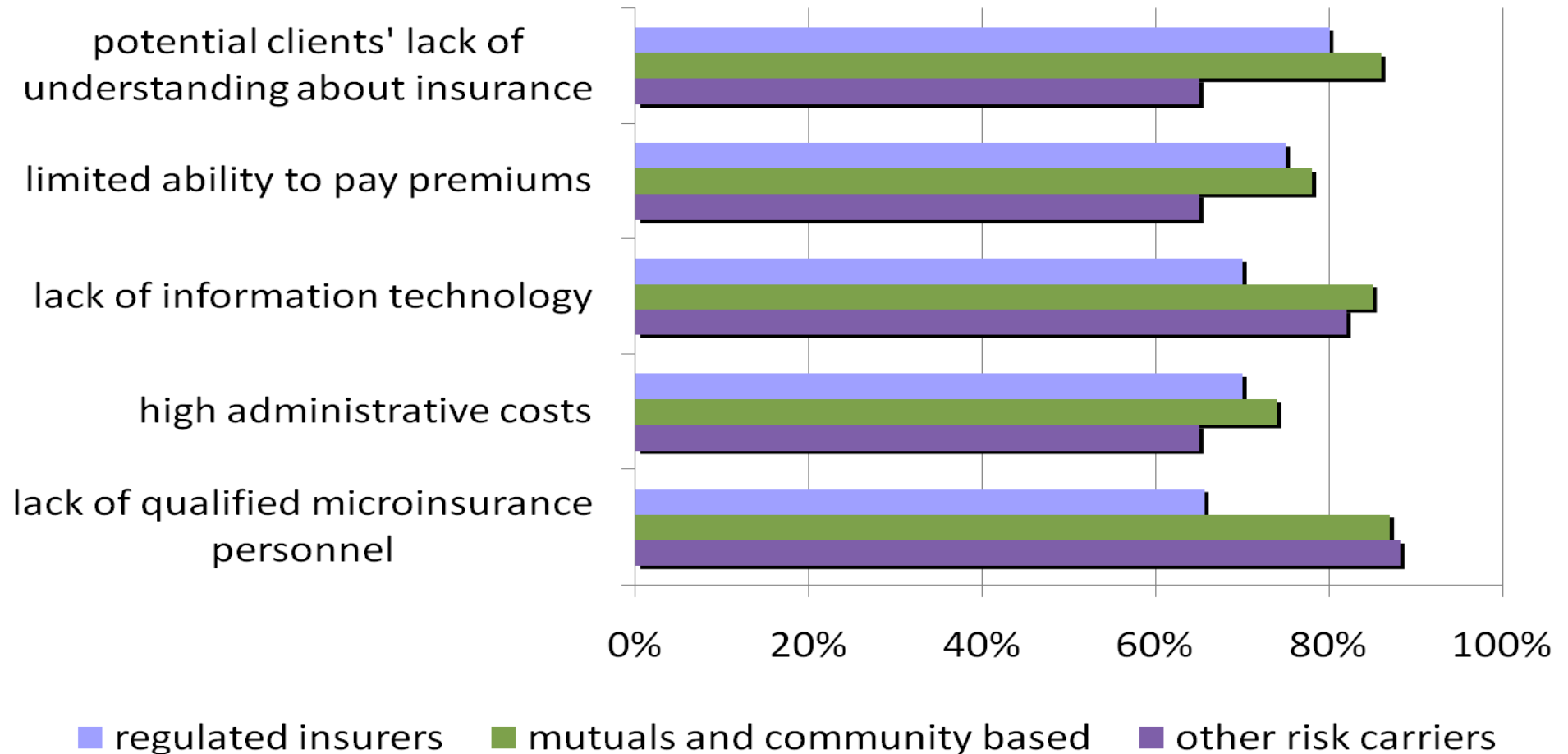
\$ billion	2007	2008	2009e
Developing countries	289.4	337.8	317.2
East Asia and Pacific	71.3	86.1	84.8
Europe and Central Asia	50.8	57.8	49.3
Latin America and Caribbean	63.2	64.7	58.5
Middle-East and North Africa	31.4	34.7	32.2
South Asia	54.0	73.3	72.0
Sub-Saharan Africa	18.6	21.1	20.5
<u>Growth rates</u>			
Developing countries	22.9%	16.7%	-6.1%
East Asia and Pacific	23.8%	20.8%	-1.5%
Europe and Central Asia	36.0%	13.8%	-14.7%
Latin America and Caribbean	6.8%	2.3%	-9.6%
Middle-East and North Africa	20.1%	10.6%	-7.2%
South Asia	27.1%	35.6%	-1.8%
Sub-Saharan Africa	47.6%	13.4%	-2.9%

# 保険

- 消費平準化ツールとしての貯蓄のみ。
- しかしカスタマイズされた保険商品はBOPの脆弱性を低減することができる。
- アフリカではおよそ1470万人がマイクロインシュランスに加入。i.e 一日2ドルで生活する貧困層の2.6%



# アフリカBOP保険市場の課題



**Source:** Landscape of Microinsurance in AFRICA (Nov, 2009) by Microinsurance Innovation Facility, ILO (Geneva)

# 生産者としてのBOP



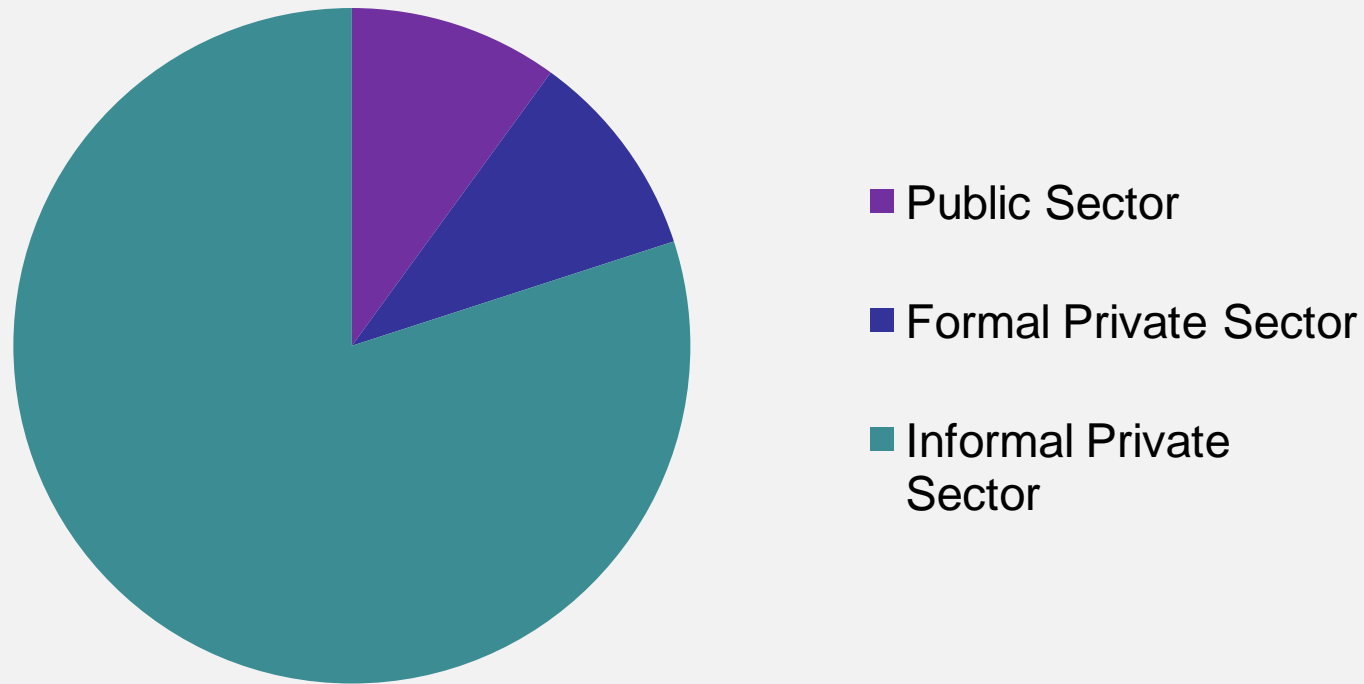
# 生産者としてのBOPのスコープ

- BOP経済とインフォーマル経済の重複。
- インフォーマル・ファームは一般的に税務当局に登録しておらず、雇用者数が5人以下のファーム。
- インフォーマル経済のシェアを正確に推定することは困難だが、開発途上国経済のおよそ41%。
- BOPとビジネスをする際、このインフォーマル経済に関する情報不足は課題。

# ザンビアのファーム調査

- ファームに関する包括的な調査を実施。
- インフォーマル・ファームによるアウトプットのシェアは低いですが、規模としては圧倒的に多数。

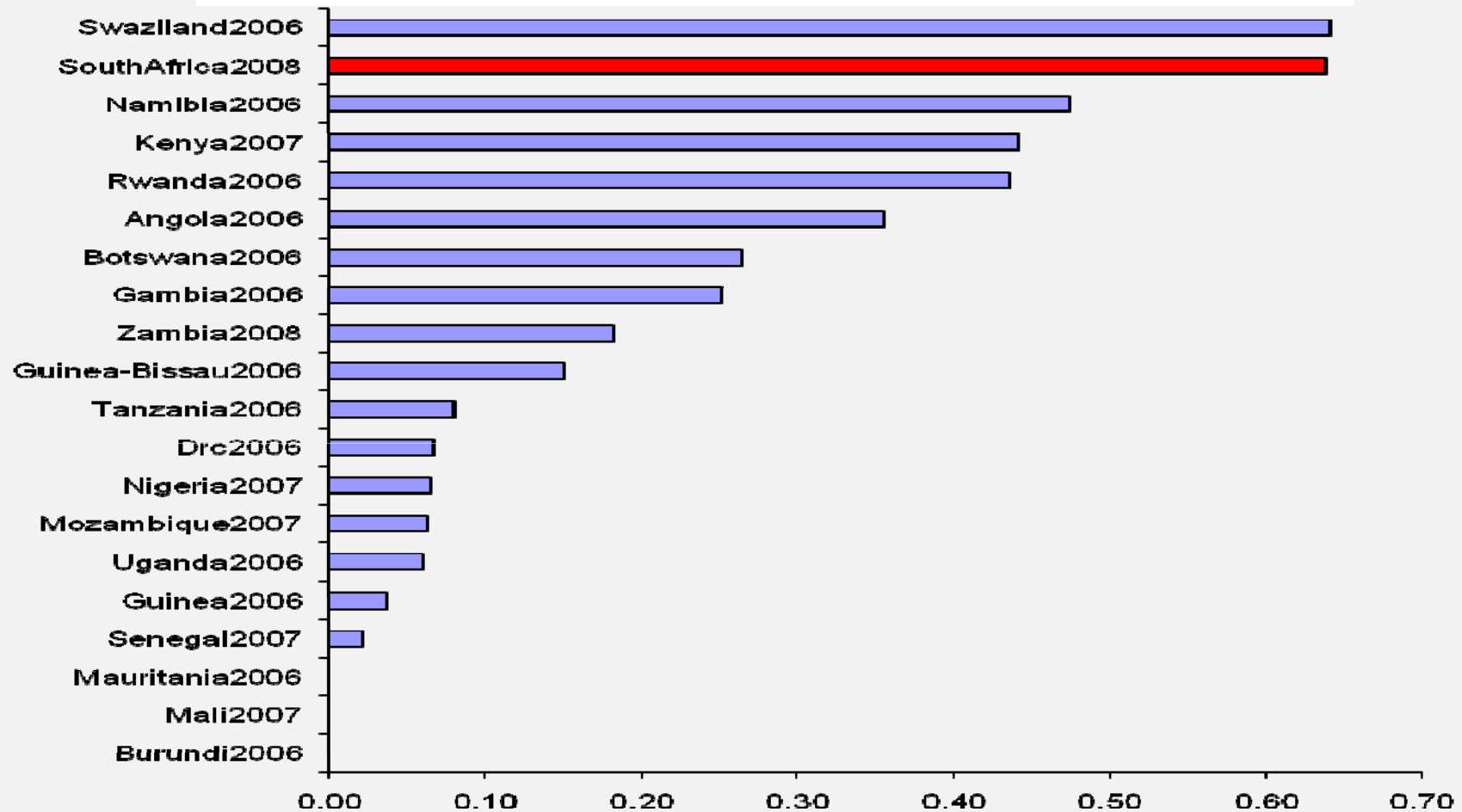
Zambia, 2005



Source: Zambia Business Survey

# BOPペナルティ

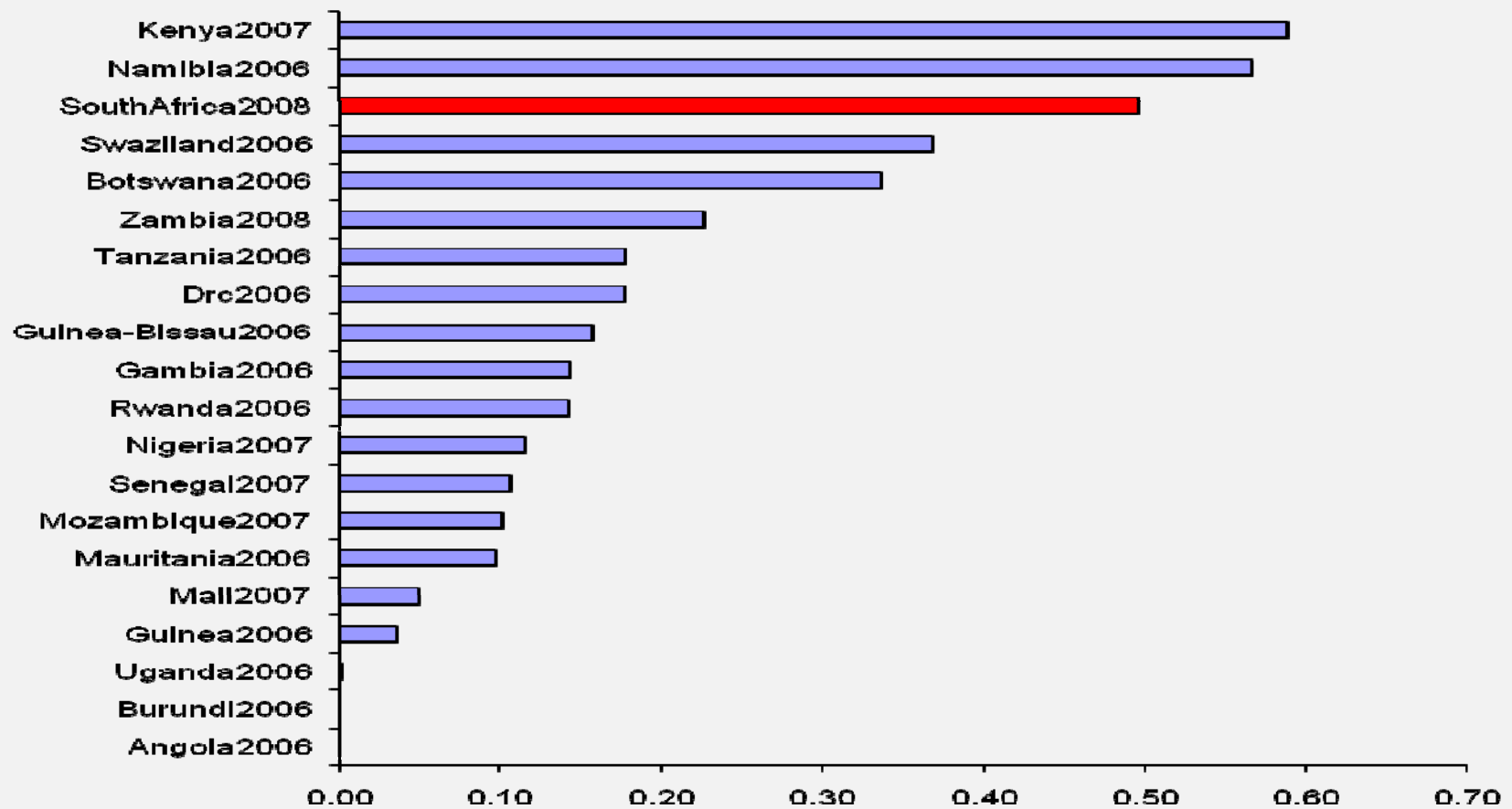
Proxy: Gap in proportion that have electrical connection:  
Formal - Informal



Source: Enterprise Surveys

# BOPペナルティ

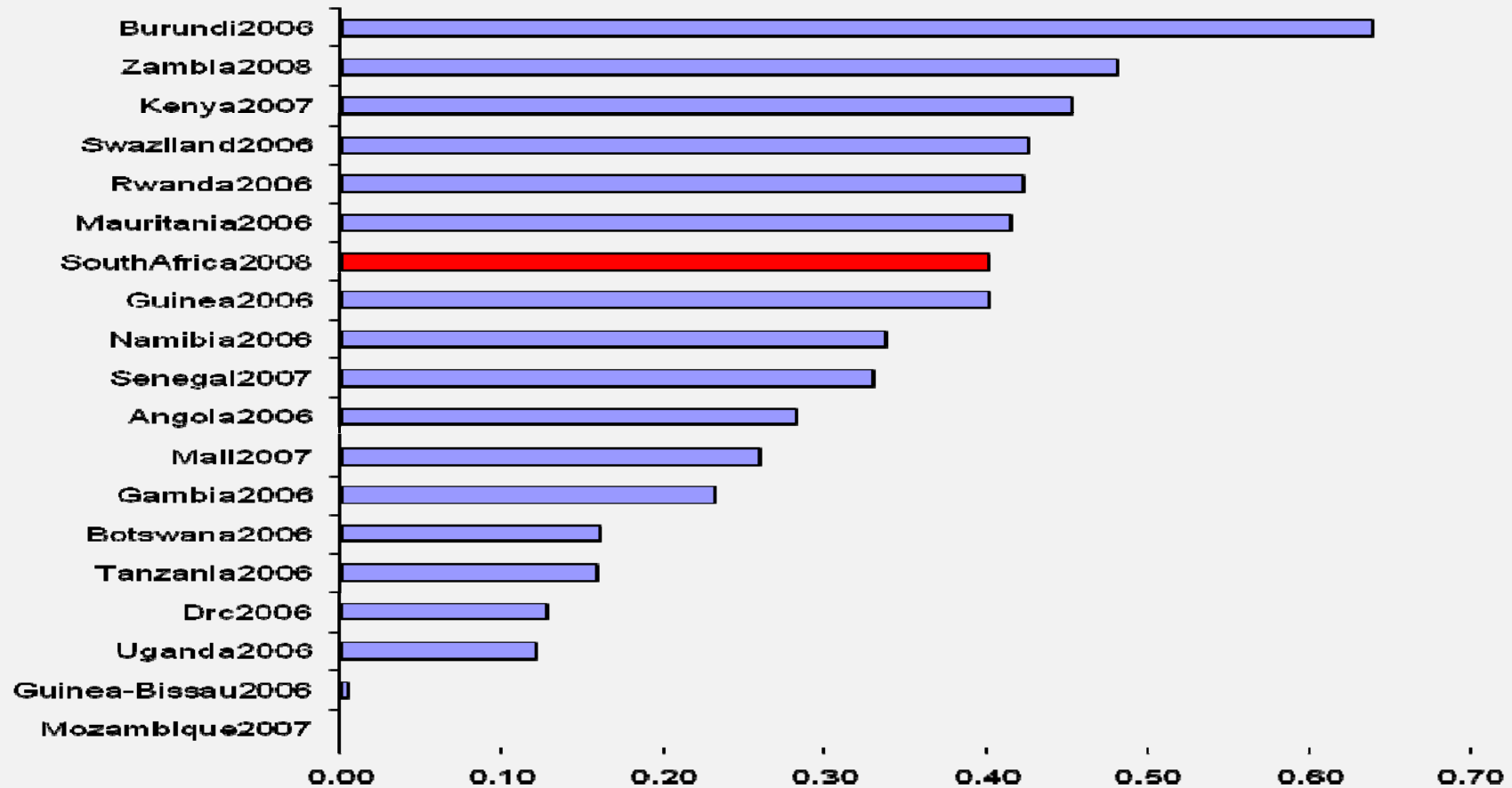
Proxy: Gap in proportion that have a water connection  
Formal-Informal



Source: Enterprise Surveys

# BOPペナルティ

Proxy: Gap in proportion that have bank accounts:  
Formal-Informal



Source: Enterprise Surveys

# スケール拡大のために

- 生産力におけるギャップを克服する。
- 現地独自の知識を有効活用する革新的な方法が必要。
- 事例: インドにおけるe-Choupal事業
  - ITC Ltdによる調達イニシアティブ
  - 分裂化されている地方の農家と直接リンク
  - テクノロジーを活用しネットワークを構築



# ICT市場の機会

アフリカは携帯電話加入登録者数、インターネット利用者数共に全世界最高の増加率。また、携帯電話を通じたモバイルサービス各種へのアクセス率も上昇中。

ICT developments in Africa, 1998-2008 penetration rate

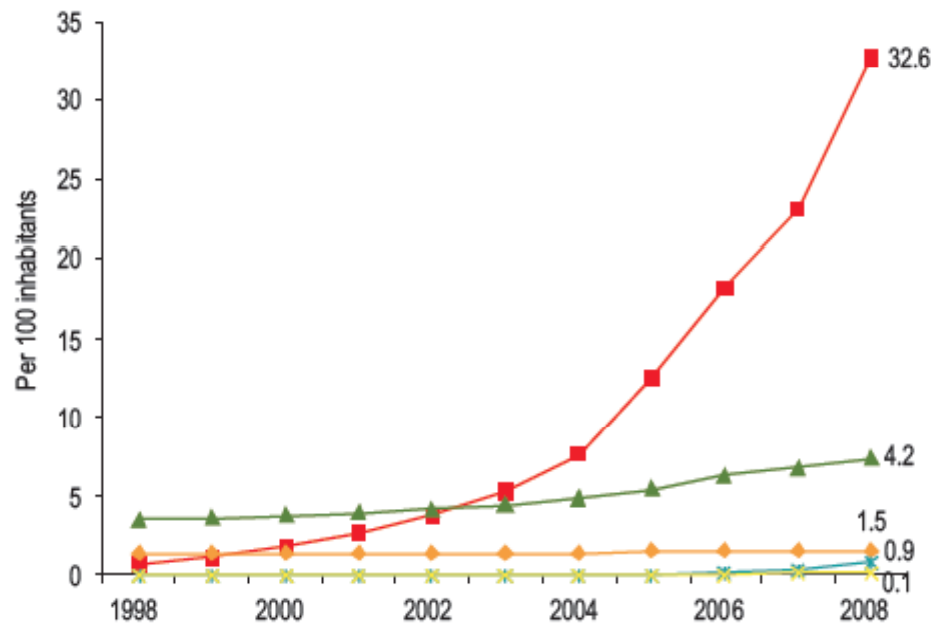
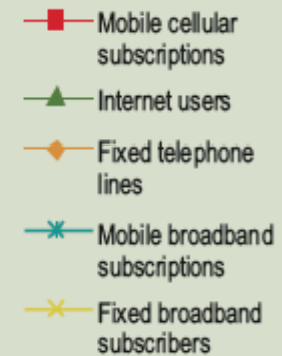


Chart 1.1



Source: ITU World Telecommunication/ICT Indicators database.

# 市場機能に基づく貧困削減策



# 市場機能に基づく解決策

- 公共投資、補助金、贈与から卒業する。
- 貧困であることが市場プロセスに参加することを妨げないことを認識する。
- 消費者と生産者としてのBOPを見直す。
- 市場をより競争的に、包括的に、効率的にすることに集中する。
- 持続的な解決策を志向する。

# ハイブリッド型市場開発戦略

- ビジネス開発手法を伝統的開発ツールと結合する
  - 消費者教育
  - マイクロ・ローン
  - フランチャイズもしくは小売代理店
  - 公共部門、NGO、援助機関との連携
- しかし、基本的に利益追求型ビジネスモデルであることは崩さない。
- 利益幅は非常に小さいがゆえに、達成度評価は持続性のために非常に重要。

# 世銀グループの役割: 民間セクターを触媒する



# 世銀グループの役割は？

- BOPとの長い取り組みから得た知識を民間セクターと共有する。
- ファイナンスその他インセンティブ・プログラムを通じて、民間セクターの関心を触発する。
- ファイナンスおよびリスク分散に、民間セクターと連携して対応する。
- キー・プレイヤーと経験、市場知識を共有するプラットフォームを形成する。

# Lighting Africa事業



- 世銀とIFCが連携することにより、このプログラムはアフリカの消費者のニーズに即した村落電化のための市場を民間セクターが開発、加速、持続するのに貢献する。
- このプログラムは2030年までに電気をえることのできないであろうサブサハラ・アフリカの5億人の人口の5割の人々に電化技術をもたらす。

# サファリ・コム の M-PESA 事業

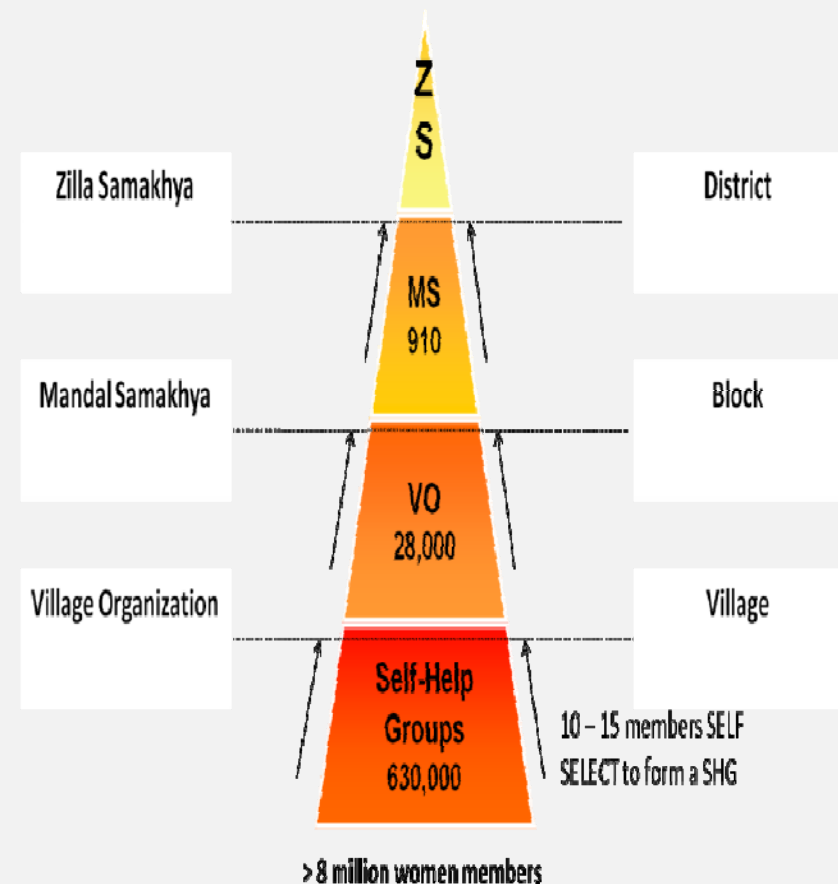
M-PESA事業は最も成功した金融サービスの一つであり、2007年の開始以来現在までに銀行口座を持たないケニアの880万人がこのサービスを通じ金融サービスをうけている。

- ケニアのFinancial Sector Deepening Trust (DFID、世銀、スウェーデンSIDAの協調融資)はサファリ・コムの新規事業開発に100万ポンドの贈与を提供した。
- この新事業はこれら銀行口座を持たない人々に暗号化技術により保護された送金を可能にし、その利用者のほとんどは地方に住む女性である。
- 一日当たり平均196万ドルの資金がM-Pesa事業により送金されており、1件あたりの送金額は平均20USドルと小額である。
- 一連のサービス・プロバイダーは現在さらに新たな市場機会を開拓している。



## コミュニティ・ベースのNGOによる投資の連鎖効果 - インド・アンドラ・プラデッシュ州の地方貧困削減計画 (APRPRP)

- 金融サービスへのアクセスの拡大
  - 2001年から2009年の間に地方の貧困者の被保険者人口を10万人から800万人以上に拡大
- 運営コスト(含む、経営、保険事故対応コスト)
  - 一人当たりの事業コストを従来型モデルの350ルピー(8.5USドル)から10ルピー(0.2USドル)に削減
- 保険事故請求対応時間:
  - 3-6ヶ月から4 - 6週間に短縮
- 対象保険サービス
  - 生命保険(死亡・障害)
  - credit life insurance
  - 家畜保険
  - 健康保険



# IfP支援事業

IfP Program supported operations (year of implementation)	Number of insureds	Insurance coverage (US\$ million)
Health Insurance		
Andhra Pradesh (India) community based health insurance (Sanjeevini)	500,000+	
Catastrophic Health Insurance for people Below Poverty Line, Karnataka, (India) (1)	4,000,000+	
Nigeria community-based health insurance scheme (1)	240,000	4.5
Term life and accidental death and disability insurance		
Andhra Pradesh (India) community based life insurance	8,000,000	
Livestock Insurance		
Mongolia index based livestock insurance (2005)	3,700	17.0
Andhra Pradesh (India) community based livestock insurance	250,000+	
Crop Insurance		
India weather based crop insurance (2003)	600,000	370.0
Natural Disaster Insurance		
Caribbean Catastrophe Risk Insurance Facility (2007)	16 Caribbean island Governments	500.0

Note:(1): Estimated by December 2009.

# サブサハラ・アフリカにおけるIDAの多面的マイクロファイナンス支援事業

## 政策環境の改善

-法と規則の枠組み

事例: タンザニア・地方マイクロファイナンス事業

## 能力開発への技術の提供

- 指導能力の強化

-マイクロファイナンス機関の支援

-Apex bodyの支援

事例: マダガスカル・マイクロファイナンス事業

## 金融基盤の整備

-与信情報システム

-支払いシステム

事例: ガーナ・経済経営能力開発事業

## ファイナンスと援助機関調整

-ファイナンス・インスツルメント

-Making Finance Work for Africaの協調

## IFC/IDAの MSME支援プログラム

- IFC/IDA MSME支援プログラムの目的：  
保証された融資、金融情報インフラ、部分保証マッチング・グラント、ビジネス開発サービスのような革新的な金融商品とサービスを提供することにより MSME金融を促進する。
- 7カ国で実施中(2億5000万USドル以上)。対象国はマダガスカル、ケニア、ガーナ、マリ、ウガンダ、タンザニア。
- ケニアでは、46のプロジェクト、4つのバリュー・チェーン支援を通じて、5万2000人の農家と、農家と市場ビジネスと繋ぐ4500の新規契約を支援した。

# 追加的支援

- Output-Based Aidに向けたグローバル規模のパートナーシップ
- CGAP
- IFCのPerformance Based Grant Initiative
- 世銀グループによるBOPに関する研究や地方開発事業、インフラ事業、人間開発事業

*Thank You !!!*